

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015.5.13		
所属学部	教育学部		
所属学科・専攻	小学校英語選修	学年	4年

1. 留学先について

留学先大学名	University of Alberta		
留学先所属学部等	Education		
留学期間	出発日 2014.08.26	入学日 2014.09.01	修了日 2015.04.10 帰国日 2015.04.26
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	0分	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法		
	部屋のタイプ	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> (4)人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (キッチン) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 40% _% 学食 50% _% 外食 10% _% その他 () *%で記入してください		
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ傷害火災保険	
	大学指定の保険(名称)	UAHIP	<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)		
	成田	⇄	バンクーバー(飛行機) ⇄ エドモントン(飛行機)

2. 留学にかかった費用について

総費用	100万	円	* おおよそでかまいません。			
出処						
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円 <input type="checkbox"/> その他	円	
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	36万	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	64万	円	<input type="checkbox"/> その他名称()	円	
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()		円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="checkbox"/> 現金	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円	<input type="checkbox"/> その他()
留学中	<input checked="" type="checkbox"/> 海外送金		<input type="checkbox"/> キャッシング		<input type="checkbox"/> その他()

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	ほぼすべてクレジットカードで

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

渡航費(往復)	外貨	\$2,005	円	199110
海外旅行保険	外貨	\$1,306	円	129690
OSSMA	外貨	\$196	円	19440
査証・在留許可証	外貨	\$125	円	12412
住居	外貨	\$3,942	円	400000
食費	外貨	\$3,222	円	320000
通学に要する交通費	外貨		円	
教科書、教材費	外貨	\$3,222	円	70000
その他大学に支払った経費	外貨	\$503	円	50000
光熱費	外貨		円	
その他 ()	外貨		円	
その他 ()	外貨		円	

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex. 正規、聴講	単位数	単位認定の有無
1 Basic Chinese I			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2 ulum and Teaching for Secondary School Second Language M			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3 Reading politics: Race and Ethnicity			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4 Introduction to Linguistic Analysis			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
5 Basic Chinese II			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6 Introduction to the Teaching of English as a Second Language			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7 History of Folklore Studies			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

BearTrackというUofAの個人ページにて、スケジュールに授業を埋め込んでいく形で履修登録をする。ほとんどの教科にPre Requisite有。4ヶ月前ほどから履修登録を始めなければ、人気の授業はとることが難しくなることもある。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業の形態は自分で選ぶことが可能。教える内容が同じ授業でも、その授業を少人数、大人数、講義、ディスカッションなど、自分の学びたい形で学ぶことができる。しかし、概ね授業はディスカッションや小テストが多い。GPAは卒業、就職におおに関わる。

3-3. 語学力について

Exchange StudentにはESLの授業の選択余地がない。International Studentsで成り立っている大学なので、授業もスライドなどで後に確認することができる。現地の学生と留学生どちらにも優しい授業を提供していると思われる。しかし、やはり語学力がないと、ディスカッションやプレゼンテーションを行うときに大変困る。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は大学に最低5つはあったと思う。6時ごろにしまってしまうものや24時間空いているものもある。飲食自由。あとは、レストランやカフェが大学内にたくさんあり、テーブルの数も多く、学生間の交流の場や試験勉強の場として主に使われている。

3-5. その他

4. 生活面

* 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

ルームメイトとの距離は大切。掃除の分担をしておくことよい。寮によって家賃や清潔度が異なるので、慎重に選んだ方がよい。早めに寮を決めておいた方が自分の志望が通りやすい。

4-2. 食生活について

テスト期間は自炊が難しく、ほぼ学食で食事を済ませていたが、料金は高くボリュームも多い。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

HUBに関していうと、すべての部屋にWifiが通っているとは限らない。しかし、大学全体的にいうと、インターネットの環境はとても良いといえる。

4-4. 服装について

部屋の中に入っただけでも暖かいので、半そでか薄い服で過ごしたが、外に出るときは厚いジャケット(スキージャケット)を着ることが必須。

4-5. 健康管理について

UAHIPという大学の保険に入ると(強制)、大学内の病院なら無料で診療を受けることができる。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

ジェイアイ傷害火災保険は値段もそれほど高くなく、途中で滞在期間を延ばしても保険有効期間の変更が可能なので、おすすめしたい。

4-7. 課外活動について

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

SVCCというLanguage volunteering groupに所属していた。その団体では、大学外からも現地の人を集めて、無料で第二言語の授業を提供する。

4-9. 日本から持参してよかったもの

特になし。基本なんでもある。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

セーター。室内は暑く屋外は寒いので、脱いだり着たりするのに、セーターはあまり便利ではなかった。

4-11. 現地での対人関係について(習慣の違い、マナーなど)

自由な分責任はすべて自分で負わなければならない。レストランやタクシー、ホテルではチップを払わなければならない。冬は昼間が短く鬱になってしまう人が多いので、やたらアクティビティーが多い。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

2014.12.18~23までアメリカ、カリフォルニア州に旅行、かかった費用10万円、2015.02.18~20まで、トロント、費用は8万円

その他

5. 報告

5-1. 留学先大学について

アルバータ大学は、ジムやカフェなど施設が充実しており、学生の意見が十分反映された大学だといえる。また、異なる言語を話す学生同士が大学でうまく共生しているなどという印象を受けた。大学は様々な授業を提供しており、ダンスや演劇など、パフォーマンス中心の授業もある。テスト期間は論文などの課題も同時にこなさなければいけないので、大変な時期であるといえるが、大学がお菓子を無料で提供したりと、楽しみもある。

5-2. 留学中の様子

初めてエドモントンに着いたとき、飛行機の遅れや荷物の紛失など、トラブルも多く、この先どうなっていくのだろうと不安になった。トラブルは続き、大学に着いた直後に、きまりかけていた寮から別の寮に変更しなければならないとResidence Officeに言われ、不安はさらに高まった。最初の一週間は本当につらかったが、その後良い友達、良い教授に恵まれ、なんとかきちんとした生活を送ることができた。人とのつながりは本当に大切だと、改めて気づかされた。秋学期、授業をとりはじめたころは、何から何までどう対応していけばいいのか分からず、毎日必死で勉強していたことを覚えている。小テストや期末テストの前は、友達に頼み込み助けてもらいながら、乗り切っていた。だからこそ、学ぶことは確かに多かったし、達成感もあった。冬学期は、授業にも英語にもだいぶ慣れてきて、自分の時間をきちんともてるようになった。この留学生活では、語学よりも大切なこと、例えば、きちんと考えてきちんと自分を表現すること、友達の大切さなどを十分に学べた気がする。だからこそ、飛行機に乗っている今、カナダで過ごしたすべての時間、場所、大好きな友達を愛おしく思える。

5-3. 留学希望者へのアドバイス

カナダの公用語は英語であるが、同時にその他多く言語も飛び交っている。人種や言語関係を学ぶには最適な国といえる。また、多くの民族が共生し合う国なので、言語教育がしっかりしている。私は教育学部なので、そういう観点からカナダを見てみると、とても興味深い発見がいくつかあった。カナダという国をよく知り、何か目的を持って留学生活を始めると、内容の濃い留学生活を送ることができると思われる。アルバータ大学は、留学生をよく考慮した授業を多く提供している。留学生がいることが当たり前の環境なので、現地の学生も留学生に対し理解を示しているの、積極的になれば友達も作りやすい。ただ、気候は最悪で、とくに1月、2月あたりは常に毎日が氷点下である。カナダでは高いので、スキージャケットのような分厚いコートを日本から1着持っていくといい。

5-4. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

留学前の自分と今の自分を比べてみると、考え方や価値観がだいぶ変わったのではないかと思う。海外で1人になってみて、自分のやりたいことや将来を見つめることができ、自分のこれからは自信がついたと思う。留学が終わって見て、今の自分に足りないことは何か、この経験をどうこれからは活かすことができるか、私は日本にどう貢献できるか、ポジティブに考えることができている。この留学生活がただ一瞬の出来事にならないように、未来にずっとつなげていきたいと思う。近い将来の目標としては、今回学んだことを踏まえて卒業論文にきちんとして取り組んでいきたい。また、教育実習も控えているので、子どもたちに自分が経験したことを伝えることができたらと思う。不安なことは特にないが、向こうでできた友達に毎日会うことができないと考えると、泣きたい気持ちでいっぱいになる。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2014.1作成版